

5月号(67-05) 著者プロフィール

1. 生年月日
2. 出身地
3. 出身高校
4. 出身大学
5. 研究テーマ
6. 最近思うこと
7. 信条
8. 最近、感銘を受けた1冊
9. 趣味
10. ごひいきの球団, チーム
11. ホームページ

●解説：ナノ空間でDNA 1分子の動作を捉える



遠藤 政幸 (えんどう まさゆき)

京都大学物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS) 准教授

1. 1968年
2. 千葉県
3. 県立船橋高校
4. 1997年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了
5. DNAナノテクノロジー, 1分子イメージング
9. 音楽, 植物観賞
11. <http://www.icems.kyoto-u.ac.jp/j/ppl/grp/sugiyama.html>



杉山 弘 (すぎやま ひろし)

京都大学大学院理学研究科教授

1. 1956年
2. 静岡県
3. 静岡聖光学院
4. 1984年京都大学大学院工学研究科博士課程修了
5. DNAを中心としたケミカルバイオロジー研究
6. 原子レベルから物質を採ることのできる科学の潜在力を生かし, さまざまな科学的な問題に取り組みたい
7. 化学は芸術である
8. 酒井邦嘉『科学者という仕事』中央公論新社
9. テニス
11. <http://kuchem.kyoto-u.ac.jp/chembio/index.html>

●解説：Happy Wrinkle が創る明るい未来



遠藤 洋史 (えんどう ひろし)

東京理科大学工学部第一部工業化学科嘱託助教

1. 1978 年
 2. 山形県川西町
 3. 県立米沢興譲館高校
 4. 2001 年富山大学工学部卒, 2007 年東北大学大学院工学研究科応用化学専攻博士後期課程修了
 5. 分野横断のシナジェティクス化学に基づく材料設計
 7. 継続は力
 9. 散策, 日本酒, ビール
-



河合 武司 (かわい たけし)

東京理科大学工学部第一部工業化学科教授,
同総合研究機構界面科学研究センター センター長

4. 1990年京都大学大学院理学研究科化学専攻博士後期課程単位取得退学, 理学博士
5. 界面化学, 刺激応答材料
9. 散策, ワイン

●解説：メタンハイドレートの物理化学



松本 正和 (まつもと まさかず)

岡山大学大学院自然科学研究科准教授

4. 1996年総合大学院大学数物科学研究科博士課程修了
 5. 水の多態
 9. 手と頭を使ってモノをつくること
-



田中 秀樹 (たなか ひでき)

岡山大学大学院自然科学研究科教授

4. 1984 年京都大学大学院工学研究科博士課程修了
5. 水, 氷, 水溶液, クラスレートの構造とダイナミクス

●解説：グラフェンに学ぶ新しい高分子の設計



坂本 純二 (さかもと じゅんじ)

ETH チューリヒ高分子研究所講師

1. 1973 年 7 月 18 日
2. 京都市
3. 滋賀県立膳所高校
4. 2002年京都大学大学院工学研究科博士課程修了, 2012年スイス連邦工科大学 (ETH) チューリヒ校ハビリタチオン修了
5. 新しい概念に基づく高分子の設計と合成法の開拓
6. 幸せが笑顔を作るのか, 笑顔が幸せを作るのか
7. やればできる. やらなければできない
9. サッカー, 水泳, 音楽鑑賞
10. INAC 神戸レオネッサ, なでしこジャパン
11. <http://www.polychem.mat.ethz.ch/people/SeniorScientists/sjunji>



A. D. シュルター (A. D. Schlüter)

ETH チューリヒ高分子研究所教授

4. 1984年ミュンヘン大学化学科博士課程修了, 1991年マインツ大学ハビリタチオン取得
5. 有機化学的手法を用いた高分子合成
9. 音楽鑑賞

●カガクへの視点



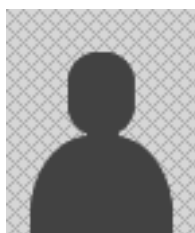
山田 暢司 (やまだ ようじ)

埼玉県立坂戸高等学校教諭

(2012～埼玉大学大学院教育学研究科に長期派遣中)

1. 1961年6月29日生
5. 生徒の化学への興味関心を学力や進学意欲の向上に生かす取組み，身近な素材を活用した実験教材の開発
6. 我が国の子ども達の生活体験不足 → 理科離れ → 日本の将来が心配……
7. 太く長く生きる
8. 武光誠『邪馬台国がみえてきた』筑摩書房
9. ギター，古代史，万葉植物（自称研究家！）
10. サムライブルー&なでしこジャパンでしょう！
11. 実験情報サイトを運営『らくらく化学実験』で検索！

●化学レビュー：第36回 海洋無機化学 いま，海洋の鉄が面白い！



蒲生 俊敬 (がもう としたか)

東京大学大気海洋研究所海洋化学部門教授

1. 1952年
2. 長野県
3. 私立武蔵高校
4. 1979年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了
5. 海水中に溶存する微量化学成分・同位体をトレーサーとする海洋の循環・混合と生物地球化学的物質輸送機構の解明
7. 日々是好日
8. オリヴァー・サックス 著，齊藤隆央 訳『タングステンおじさん—化学と過ごした私の少年時代』早川書房
9. 仕事場の設計・改装・整理，のんびりと歩くこと
11. <http://co.ori.u-tokyo.ac.jp/mic/Gamo/index.html>